

松本大学と地域をつなぐ情報誌

ゆめ通信

Vol.16
2010.7.7 (Wed)

地域づくりコーディネーター養成講座開講

第1回 まちの縁側楽会開催！

松本大学ゆめひろばイベント開催

根本ゼミのピンキラ☆エクササイズ
国際交流クラブinこども広場

学生ゆめ
学生通信始まりました
インフォメーション



学校法人松本学園

松本大学

ゆめ

ゆめ ゆめ

“ゆめ”の由来・・・結芽「ニーズの芽を結ぶ場所」+夢+遊眼「遊び心の視点を持つ眼」

地域づくり考房「ゆめ」は、大学で学んだ知識や技術を学生が地域づくりの中で実践的に生かしていくことを目指しています。

第1期 地域づくりコーティ

知る…①
3/13

開講式・あいさつ 松本大学学長 菴谷利夫
基調講演「大学の地域貢献とは」 講師:松本大学総合経営学部長 木村晴壽
大学と地域連携の視点から「実践から見る地域の現状と課題」
講師:松本大学観光ホスピタリティ学科教授 白戸洋



開講にあたり、松本大学の菴谷学長からごあいさつがあり、木村総合経営学部長から「大学の地域貢献とは」という基調講演をしていただきました。松本大学がこの地域に根ざした活動…学生を地域に出して地域の人たちに育ててもらい、地域を元気にしていく地域貢献度No.1大学であることを確認しました。午後は、福島先生によるアイスブレイクやワークショップで「話し合うためのルール作り」などを行い、白戸教授により「地域づくりというけれど」の講義が行われました。

知る…②
3/20

名古屋～松本～長野沿線 まちの縁側楽会ー ホップ・ステップ・ネットワークー
講師:延藤安弘氏(愛知産業大学大学院教授・NPO法人まちの縁側育み隊代表理事)

オープン参加でしたが、まちの縁側楽会へも参加しました。楽しいコンサートにはじまり、延藤先生による幻灯機ふたつを駆使した、楽しいおしゃべり「げんとく」でまちづくりにとっての縁側の重要さや、いろいろな形があることを教えていただきました。参加団体のプレゼンテーション、「ここが素敵！」という参加者による投票もあり、「信里新聞をつくる会」がこんなエンガフいいで賞を受賞しました。さまざまな縁側が、各地に広がり、地域を元気にしています！



知る…③
3/27

ボランティアコーディネーターの視点から:コーディネートとは/コーディネーターの役割
講師:筒井のり子氏(龍谷大学社会学部教授・NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会運営委員長)



ボランティアという言葉が使われるようになってから久しくなります。行政の下請けや、予算がないからボランティア…ではなく、あくまでも主体的に意識を持ってやりたいことをやるのがボランティア。恋に似ていて、時にはお別れも…。午後は、バースデーラインによりグループ分けを行いました。福島先生が1月1日生まれとは！「ボランティアコーディネーション力とは」というワークショップ。グループごとに描いた模造紙で、発表を行いました。

地域づくりコーディネーター養成講座開講

講座企画担当:
地域づくり考房『ゆめ』専任講師 福島 明美



山積みする様々な問題を、地域の中で解決していこうとした時に、多様な人たちが一緒に行わなければ解決が難しい現在、様々な組織が協働して取り組むことが求められています。現在、学生が関わっている地域での活動は、若者の斬新なアイデアや考え方が硬直した地域に波紋を投げかけ、若者のパワーで地域を元気にしています。学生には、21年度から他学部履修による全学生を対象とした「地域活性化プログラム」を開講し、認定証が授与されます。

今回の養成講座は、その一環で学生と地域の方とともに学び高め合うことで、実践的に地域をコーディネートしていきます。50名の参加希望者の中から、学生と各分野で活動する県内全域に渡る社会人、合わせて30名が受講しています。NPOや行政・企業等の組織で、コーディネートに携わるスタッフやリーダーの方々と、学生はともに学びながら、一連のプロセスを通して、「社会参画力」を身につけ、学習面の向上やキャリア形成につなげています。

地域づくりコーディネーターは、地域づくりの要です。講座を通して、リーダー育成となり、そのリーダーのコーディネートによる地域社会活動の実施、および地域からの情報発信の促進と大学と地域との協働事業による重層的・有機的な活性化効果が多数の地域にもたらされ、大学の社会貢献活動に寄与することを期待しています。

ネーター養成講座開講！

中間報告…書いた人 田村恵子(みけ)



考える…①
4/10

協働コーディネーターの視点から：参加・協働のデザイン／新しい公共とは

講師：世古一穂氏(金沢大学大学院教授 NPO法人NPO研修・情報センター代表理事)

地域発の「食」を通じた元気作り！コミュニティレストラン(コミレス)で地産地消で安全で美味しい地元の食べ物を、みんなで食べる。集うことで地域が元気になり、雇用創出、経済効果も生まれ、一石二鳥。ワークショップでは「協働コーディネーターに求められるもの」を考えました。次々と出てくる課題を分類・分析して、回答・解決していくテクニックが必要ですね。



考える…②
4/24

共感のファシリテーターの視点から：つぶやきの響き合い／論議の見える化／合意形成

講師：延藤安弘氏(愛知産業大学大学院教授 NPO法人まちの縁側育み隊代表理事)



延藤先生お得意の「げんとーく」にはじまり、まちづくりは「つぶやきを形にすること」。ひとりひとりの小さなつぶやきを、実現していくテクニックを体感しました。ファシリテーション・グラフィックス入門では、議論を色や文字・イラストなどで見える化すると、会議の方向性が見えてきて、プラス思考の意見が出されてきます。楽しい会議7ヶ条では「ひ・き・つ・け・ら・れ・る」でお見事にまとめていただきました！

考える…③
5/15

行政のファシリテーターの視点から：地域に継続した力を吹き込むために／シナリオを描く

講師：高橋信博氏(山形県農林水産部農村計画課地域づくりプランナー)

本当に行政マン？と疑ってしまう(ごめんなさい)高橋先生。にこやかな笑顔で、ワークショップを運営し、「声」と「提案」をどんどん引き出す手法は、鮮やか。さまざまな小道具を駆使してあっという間に声を仕分け、整理されていく…。昔から地域にある「け」という日常の暮らしを鍛えることで、地域を元気にしていく戦略とシナリオづくり。「NOBU SCORE」活用させていただきます！



考える…④
5/29

共感のマネージャーの視点から：共感のマネージメント～ビジョンと戦略 シナリオを実現するための組織づくり～

講師：松本修一氏(V・マネージメント代表)



NPOでも任意団体でも、それぞれの活動の目的、それを達成するための手法、順序だてて整理してみんなで共有することが大切。それができれば、組織が強化されて、人も集まってくる、活動が広がる…。具体的に、目標もできる。ワークシートに受講者それぞれの活動の、具体的な取組みを記入する作業で、年単位で何に取り組んでいくべきかがはっきりと見えてきました。

受講者の声…

●地方公務員 清水 進さん

安心して普通に暮らす幸せを実感できる地域社会でありたい。でも現実には、課題が山積み。



講座には、課題解決に取り組む立場の違う人たちが集まり教えていただくことが多くあります。そして、多彩な講師陣のプログラムは、それぞれの視点と豊富な経験から個性的な講義とワークショップにより具体的なコーディネーター像と役割が展開されて引き込まれます。

●大町市在住 野高 玲奈さん

ネットワークが広がれば…、地域に何か恩返しできれば…、という思いで参加しました。



普段はのどかな山里で、農作業しながら生活しているので、講師の方々の内容の濃いスピード感たっぷりの授業についていくのに必死で、夕方、家路につく頃には、頭はぐったり。でも、講義を重ねる度に、地域への愛着が増し続け、皆さんとの不思議な縁を感じたり、これからもお世話になりたい出会いもあって、有り難や～という今日この頃です。

●松本大学生 北原 保奈美さん

私は大学の学生活動で、手話を学び、聴覚障害者の方と交流をしています。どう活動をコーディネートしていくかを、勉強しています。講座は



地域活動をしている人達が集まっているので、様々な活動を知ることができ、情報も多く得ることができます。また、社会で必要とされる能力も身につけることができるので、スキルアップにも繋がっています。この講座で培った知識や技術を活動に反映させていけるよう、一生懸命取り組んでいきたいです。

第1回 まちの縁側楽会 開催!

3月20日(土)、名古屋～松本～長野沿線まちの縁側楽会実行委員会と松本大学地域づくり考房『ゆめ』の主催で、「まちの縁側楽会」を開催しました。まちの縁側とは、誰でも参加でき、活き活きと人生を創出する、ゆったり過ごせる、ホッとできる居心地の良い居場所です。各地域で縁側を創出している皆さんが、松本大学へ集まり交流しました。

楽会は延藤安弘先生の「げんとく」で始まり、イタリアのポローニャから、名古屋、松本、長野までの縁側を、スライドと巧みな話術で紹介して下さいました。そして集まった方達の活動紹介へと続き、参加者全員による「ここがいいで賞」の投票を行いました。グランプリには長野市の「信里新聞をつくる会」が、準グランプリには長野市松代の「いわの風・えんがわ笑楽校」が選ばれ、全参加団体へは延藤先生による素敵な賞が贈られました。

3月20日、松本大学にお世話になり、寒い風が吹いて春はまだ、という感じでしたが、居心地の良い素晴らしい時間でした。

ゆべし作りを若妻で始め、37年。高齢者と呼ばれるようになりましたが、お声をかけていただき、久しぶりに発表させていただける場を与えられて嬉しく思いました。

組合員の最高齢は95歳となり、生涯現役を目指して輝いてくることができました。

私達の地域は、限界集落そのもので人口が30人を切ってしまい、猪、鹿、猿の方が多いかもしれません。でも、お蔭様で暗くなるようなことはなく、今でも夢を持ってやっています。

縁側の皆さんのように温かい人々、魅力ある方々に囲まれてきて、また新しい縁側をいただき、春のような温かい気分になって帰ってきました。先生方、スタッフの皆さん、最高に良かったです。ご苦労様でございました。同行した孫娘も、大変楽しかったと。本当にありがとうございました。

(天竜村柚餅子生産者組合 関 京子さん)

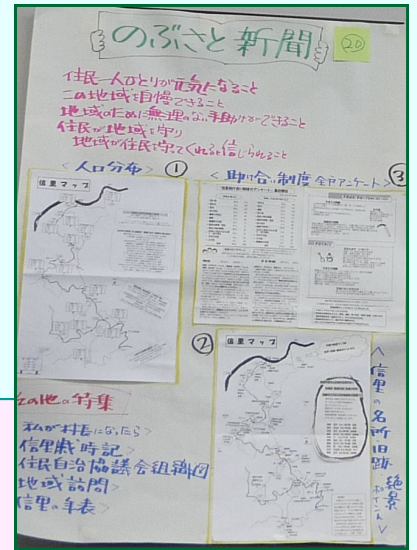
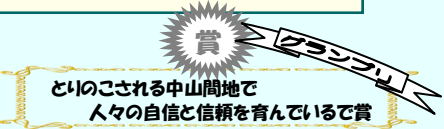


グランプリをいただきました!

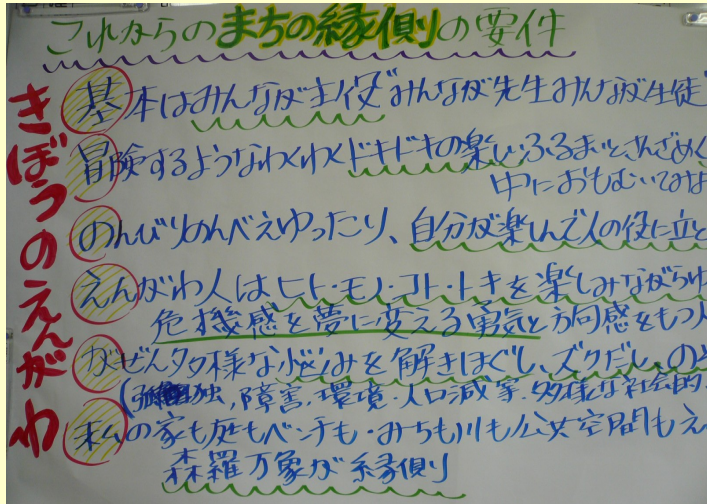
信里新聞は「住民による住民のための新聞」としてスタートし、今に至っています。住民全員が主役になるように、この地域に暮らしてよかつたと思えるようにと心掛けて紙面作りをしてきました。素人ですし、とにかく地域のお話を週に一度集まって話をする。このやり方に徹してきました。15の集落で500戸足らずの家。「長いこと暮らしていても他所の集落のことはわからなかつた」「楽しみにしてるよ」「必ず読むよ」と言われると、泣きたいくらい嬉しい。

地域だけしか見ていない私達なのに、広域のグループが集まった中でグランプリだなんて! 世の中捨てたもんじゃない!

(長野市・信里新聞をつくる会 中島 法子さん)



参加者の活動紹介と意見から見つけた 今回の縁側楽会のキーワード



3月20日に松本大学で開催された「縁側楽会」に考房『ゆめ』のプロジェクト「Sign」のメンバーとして参加しました。

活動発表では各チームの活動の特徴や秘訣を紹介してくれました。チームごと対象としている人は様々でしたが、活動を通して地域の居場所を作るという共通の目標は変わりませんので、参考にしたいなと思うことをたくさん聞くことができました。

近年、地域住民が主体となった活動が盛んに行われるようになりましたが、チーム同士の横のつながりを持つことはなかなか難しいと感じています。とすると活動することに意義を見出してしまい、当初の目的から活動が外れてしまうこともあると思います。今回の楽会のようにチーム同士の交流を図り意見交換をする場を通して、改めて自分達の活動を振り返る良い機会が与えられたと感じています。

次回の楽会では私達の活動もさらにパワーアップして臨みたいと思います。今から次回の楽会が楽しみです。

(観光ホスピタリティ学科4年 西澤 亜紀さん)

松本大学ゆめひろば

今年度は、サークル・部活動及びゼミや講義での学びを一步進め、学生主体による社会貢献活動に向けた新たな地域活動への展開を学生と一緒に進めていきます。

5月22日には、カタクラモール内「松本大学ゆめひろば」にて2つの活動が行われました。一つは、昨年度学生の自主活動としてプロジェクト化された親子・親同士のコミュニケーションの場を創出している「松本大学こどもあそび隊」と、昨年できた「国際交流クラブ」との連携による「こども広場」です。11組の親子28名が楽しく交流しました。

また、同日同時刻には3階カタクラホールに於いて、スポーツ健康学科根本ゼミ学生による「ピンクエクササイズ」も実施され、地域の方50名近くが参加されました。



今までの健康教室では、約半年間の内容が決まっておりました。しかし今回の健康教室、「根本ゼミのピンク☆エクササイズ」は1回の講演とエクササイズのみでした。この条件で企画、運営を行い多くのことを経験しました。企画に関して1回でどのように運動の動機付け、エクササイズを覚えてもらうか悩みました。また、限られた時間、スペース、対象者、資料作成といった運営側の立場となり、参加者に満足していただくものになるよう先生やゼミ生のアドバイスを参考に内容を決定しました。当日、多くの方に参加していただき充実した健康教室になりました。今後、指導者としてだけでなく、運営者としても活躍していきたいです。
(人間健康学科4年 重野 利彰さん)

ビートたけしの「みんなの家庭の医学」を見て根本先生のインターバル速歩に興味を持っているところに良いタイミングでお誘いを受けて参加させていただきました。歩くことが好きで、朝の散歩はしていましたが、普通のウォーキングでは、体力の維持増加が出来ないことが分かりました。姿勢・歩幅が大事だということもわかり大変勉強になりました。50歳を過ぎ体の重さも気になりましたので無理のない程度の速歩で続けたいと思います。普通に歩くこととの違いを再確認でき、とても良かったです。

(松本市 長谷川 郁子さん)



国際交流クラブ in こども広場



私に任せられたことは、日本の子どもに韓国の昔話の紙芝居をすることだった。絵も自分で描いて、翻訳も自分で準備しながら、正直わずらわしいと思った。しかし当日、紙芝居が終わって、なんとなく胸がいっぱいになるのを感じ、たとえ子ども達がこの紙芝居の内容を覚えられないとしても、韓国という国が子ども達にとって親しみのある、近い国であるというイメージを持つようになってほしいと思った。この紙芝居は私が大学に入学して初めて任せられた活動だったし、韓国の文化を伝えられる機会だったということで、意味の大きな経験になった。
(総合経営学科1年 鄭 有芝さん)

私たちこども広場は、5月22日に第1回こども広場を開催しました。今回は松本大学国際交流クラブの方達に参加していただき、外国の遊びを教えてもらいました。

マレーシアと中国の数の数え方を教えてもらったり、中国のゲームをしたり、それぞれの国のお話を手作り紙芝居でしていただきました。子どもはもちろん親御さんも外国のことを知ることができると楽しんでいただけました。私たちも貴重な体験ができ、とても楽しかったです。

(観光ホスピタリティ学科3年 塩原 ひかりさん)

★第2回こども広場★

日時: 7月10日(土)
10:00~11:30
場所: 松本大学ゆめひろば
内容: 七夕短冊づくり
読み聞かせ
手遊び・絵描き歌

★今後のイベント予定★

松本大学mic美術部作品展(8月17日~22日)
松本大学写真部(8月下旬~9月上旬)/茶道部/華道部
松本大学子ども見守り隊/松風連/Sign/ヘルシーメ
ニュー/上高地線応援隊/Sweets/地域連携市場・etc

※この他学生と一緒にやりたい活動がありましたら、お申し出下さい。

〈お問い合わせ先〉
松本大学ゆめひろば(カタクラモール南口)
TEL: 0263-37-7210 FAX: 0263-34-7224
E-MAIL: yume_work_station@yahoo.co.jp

学生

学生ゆめって？

今回紹介のプロジェクト

- ・お店で楽しい縁側づくり
- ・かえるまつり
- ・子ども見守り隊

編集メンバー

短期大学部経営情報学科
 2年 岩垂 朋美
 1年 大輪 啓子
 1年 下坂 美鈴

※メンバー募集中

編集後記

1回目の『学生ゆめ』皆さんいかがでしたでしょうか？インタビューをしたり、文章を書いたり、私たちも慣れないことが多いですが、ようやく形になってほっとしています。

これからもみなさんのためになる情報をお届けしていこうと思っているのでお楽しみに。

岩垂

みなさん、こんにちは

今号のゆめ通信より、学生編集委員が担当する『学生ゆめ』のコーナーがはじまりました。

考房「ゆめ」での活動について、学生の目線からご報告、ご紹介していこうと思っています。皆さんどうぞ、よろしくお願いします。

今回の特集は活動プロジェクトのご紹介。

地域の活動を始めたいけど、

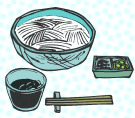
「何をしたら良いのかわからない」

「どんな活動があるのかわからない」

という方のため、3つのプロジェクトの紹介をします。

代表者の方にインタビューをしてきました。

みなさんの活動をはじめの参考にしてください。



お店で楽しい縁側づくり みすず屋さん

代表 経営情報学科 2年 深沢 絵里さん 沖 瑞彩さん

この活動を始めたきっかけは？

2人でなにか活動を始めたいと思い、考房『ゆめ』でこのみすず屋さんを紹介していただきました。

ここにくるお客さんを含めて、お店の印象は？

ご店主の古屋さんはじめ、地域のお客さんも暖かく迎え入れてくれました。お店の雰囲気も懐かしさを感じてとても落ち着きます。お店のお料理、地域のお客さんたちが持ってきてくださるお料理も、美味しいものばかりです。

現在計画していることはありますか？

まだ具体的に決まってはいませんが、地域のお客さんたちと一緒に地域のコミュニティバスを利用して小旅行をする計画を立てています。

最後に一言お願いします。

現在活動メンバーが少ないので、みなさんのご参加お待ちしております。



かえるまつり

代表 総合経営学科2年 大平 実季さん

かえるまつりの活動を始めたきっかけは何ですか？

1番最初のオリエンテーションのときにかえるまつりの説明があって、そのときはあまり入ろうとは思わなかったのですが、友達にかえるが好きな子がいて入ろうかなと思い、考房『ゆめ』に来たら丁度会議がありそこに参加したことをきっかけに始めました。

かえるまつりに1番初めに参加したときの感想は何ですか？

初めは知っている人がいなくてとても緊張していたし、地域の人もいて、どういう活動なのかもわからなくて続けられるかな？と思いました。

かえるまつりは、地域の人や信州大学の人と一緒にいるそうですが、交流はしていますか？

お祭りで射的があるのですが、そういった部署にそれぞれ信州大学の人と割り振っているので、その中でも仲良くなれるし、飲み会等でみんな集まるのでとても打ち解けることができました。

飲み会をよくやるそうですが楽しいですか？

はい、そうですね。そのときは、はっちゃけています。新入生歓迎会のときも100人近く集まって、すごく楽しかったです。

新入生が最初に行なった活動はなんですか？

最初に行なったのは会議です。射的とか受付とか色んな部署があるのですが、どの部署に入るのかを決めました。

かえるまつりの募集はまだしていますか？

はい。ですが、現段階で会議を開いている公民館に人が収まり切らない程募集が殺到しています。

かえるまつりの他に何か活動していますか？

はい。私は松本大学でボクシングの同好会を開こうと思い、一年の時に頑張って仲間を集めたのですが、結局1人しか集まりませんでした。その子はもういないのですが、今新たにかえるまつりを通して信州大学と合同でボクシングの同好会ができています。

最後に一言お願いします。

かえるまつりはお祭りです。かえるまつりは毎年あるので、かえるの格好をしてきてくれたらうれしいです。

かえるまつり本番を終えての感想

当日は上手く進めることができ、心配だった雨も降らず、いい天気の中沢山のお客さんが来て良かったです。かえるまつり、支えてくれた全ての人に感謝しています。皆がかえるまつりを楽しんでくれていたら本当に嬉しいです。



松本大学子ども見守り隊

代表 観光ホスピタリティ学科4年 中田 大輔さん

子ども見守り隊とは、どのような活動をされているのですか？

私たち子ども見守り隊とは、オリジナルのメッシュキャップと、タスキを付けて、大学がお世話になっている地域の小学校へ行き、登下校の時間に挨拶運動や、児童が登校してくるときに危険が無いように見守ったりしています。

どうしてこの活動をしようと思ったのですか？

私の一つ上の先輩が、最近子供を巻き込んだ事件や事故が多いという事を知り、私たちの住む地域から無くしていきたいという思いから、この活動が始まりました。

新入生は何人入りましたか？また、現在は何人で活動していますか？

現在までに、9人入りました。合計24名で活動しています。

活動は、何処でいつ、されているんですか。

活動場所は、芝沢小学校と三郷小学校の周辺です。

芝沢小学校は、登校時の場合は水曜日の朝、下校時の場合は月曜日、火曜日、木曜日、金曜日の3限終了後、15:10~16:30頃まで活動しています。三郷小学校は、水曜日と金曜日の朝、活動しています。

活動に決まりはありますか？

先程言った、メッシュキャップとタスキの着用が義務と、必ず2人以上で活動を行なうということです。一人でなくなったときに、何か問題が起こったら対処できないので、必ずそういう形で活動をしています。

活動を通して、嬉しかった事と、困った事があれば教えてください。

嬉しかった事と困った事が一緒になるのですが、三郷小学校の見守りの時に、必ず、私たちに対してじゃんけんを求めてくる小学生がいて、楽しいのですが、その波が収まった後に、帽子とタスキを奪いに來る小学生がいて…嬉しいようで、ちょっと困る事はありますね。

最後に一言お願いします。

この活動は、朝早くて学生にとって苦勞する面もあるのですが、やっていけば必ず、児童が挨拶してくれて、仲良くなれるので楽しいと思います。子供に興味ある人や、ボランティアやりたい人は、就職活動などにプラスになると思います。やる気のある人が来てくれたら嬉しいです！





学生チャレンジ奨励制度 交付プロジェクト決定!!

今年度も、本学学生の社会参加への活動支援である「地域づくり学生チャレンジ奨励制度」の選考会が6月15日（火）に行われました。そして、下記のプロジェクトに奨励金が支給されました！

キッズスポーツスクール

ヘルシーメニュー

松本大学子ども見守り隊

上高地線応援隊

松本大学こどもあそび隊

Sweets

地域交流和太鼓プロジェクト「松風連」

Sign



Information



上高地線応援隊

始めまして。私たち『上高地線応援隊』は、今年5月1日に「古い電車で新しい語らいの会」から『上高地線応援隊』へと名前を変えました。

今までは、使われてない電車を縁側のように地域の人たちが集まれる場所にできるように活動してきました。しかし、名前を変えてからは、上高地線の存続問題を考えながら、もっと多くの人に上高地線のことを知ってもらい元気にしたい！という思いがあります。

活動しているのは、短大生・地域の人・松本電鉄の社員さん 計10人ほどで活動しています。電車の知識がなくても参加できるので、ぜひ、地域活動に興味のある人は参加しませんか？



松本神社例大祭での神輿担ぎ

7月10日、11日に松本神社で毎年恒例の伝統的なお祭「松本神社例大祭」が行なわれます！学生も神輿担ぎをするので、ぜひ見に来て下さい！！

チーム青い空

7月10日に青い空ガーデンで、ラベンダーの挿し木をする交流作業を行います。興味、関心のある方は地域づくり考房『ゆめ』まで！

真夏の夜の祭典2010 新村音楽祭

日時：7月24日（土）15：50～19：00

場所：松本大学第一体育館

いろいろな団体が演奏します。ぜひお友達も誘って聴きに来て下さい！！

昭和あそび探検隊

7月18日の13：00～16：15にあがたの森公園で小学1～6年を対象とした、昔の遊び等を体験できるイベントを行います。参加費は300円で持ち物は飲み物と帽子です。参加希望者は、7月9日までに地域づくり考房『ゆめ』へご連絡下さい。

★・*・☆*・° つぶやき ☆*・° ★・*

ヘルシーメニューは発足して、まだ1年しかたっていないプロジェクトですが、昨年は「豆乳みそ汁」を開発しました。豆乳みそ汁は、現在浅間温泉で提供してもらえるよう話し合い中です。今年度私たちが考えたものは、豆乳タルトと豆腐白玉だんごを使ったぜんざいやあんみつです。まだ完成していませんが、これから浅間温泉の方々と話し合って旅館で提供してもらいたいと考えています。これ以外にもいろいろな料理を開発していきたいと思っています。私たちの考えた料理を多くの方に食べていただくために浅間温泉の渡来人祭りや、大学祭での提供を考えていますので、よろしくお願ひします。

(健康栄養学科2年 尾和 美沙紀)

お問い合わせ、ご意見、ご質問、ご感想等
ありましたら下記へご連絡下さい。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

Tel : 0263-48-7213(直通)

Fax : 0263-48-7216(直通)

E-mail: community@matsu.ac.jp

URL: http://www.matsumoto-u.ac.jp/matsumoto_u/yume/